弘前警察署の重点路線・重点地区（令和７年１月～６月）

	重点路線（地区）	指 定 理 由
1	国道7号	過去3年間の上半期における事故件数は路線別最多で、重傷事故が3件発生している。 また、高速度による重大事故の発生が懸念されるため。
2	国道339号バイパス	過去3年間の上半期において死亡事故が1件、重傷事故が2件発生している。 板柳警察署との統合により延伸した道路であり、重大事故の発生が懸念されるため。
3	弘前鰺ヶ沢線	過去3年間の上半期における事故件数は路線別で2番目に多く、死亡事故が1件、重傷事故が3件発生している。 また、速度抑制対策を図る必要がある。
4	石川百田線	過去3年間の上半期において死亡事故、重傷事故とも1件ずつ発生している。 また、実勢速度が速い傾向にあるため、速度抑制等の総合的な対策を要する。
5	弘前駅前交番管内	過去3年間の上半期において横断歩行者妨害に起因する事故が管内別で最多である。 JR弘前駅のほか、多くの商業施設がある地域であり、、歩行者対策に重点を置いた取締りが必要である。
6	中央交番管内	横断歩行者妨害に起因する事故が増加傾向にあるため。 また、商業施設や歓楽街があるため、昼夜ともに交通量が多く、一時不停止や歩行者妨害に起因する事故が発生しているため。
7	桝形交番管内	自転車が関係する事故や横断歩行者妨害に起因する事故が多く発生した。 また、学校や商業施設があり、交差点関連違反に起因する事故が多いため。
8	城東交番管内	事故件数が増加傾向にあり、交番管内別で最多である。 また、商業施設が多いことから昼夜ともに交通量が多く、事故の発生が懸念されるため。

※　重点路線・重点地区以外の場所であっても、取締りを実施することがあります。

弘前警察署の交通指導取締り方針（令和７年１月～６月）

	重点路線（地区）	重点的に取締りを実施する違反種別							
		速度超過	信号無視	一時不停止	横断歩行者妨害	飲酒運転	携帯電話・シートベルト	自転車関係	通行禁止
1	国道7号	○	○				○		
2	国道339号バイパス	○	○				○		
3	弘前鰺ヶ沢線	○	○				○		
4	石川百田線	○					○		
5	弘前駅前交番管内		○	○	○			○	
6	中央交番管内		○	○		○		○	
7	桝形交番管内			○	○			○	○
8	城東交番管内		○	○	○				

※　重点指定されていない違反種別についても、取締りを実施することがあります。